

巻末資料

環境保全に関する取り組み一覧

① 人との関わりが深い自然環境の保全

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○農地パトロール（利用状況調査）事業 要活用農地（83.6ha）の調査及び指導を行いました。また、耕作放棄地については、平成 24 年度(73.4ha)は平成 23 年度(72.3ha)と比較して 1.1ha 増加しました。</p>	<p>農業従事者の高齢化、後継者不足等の理由により耕作放棄地が増加しています。その対策として農地の幹旋等について積極的に周知し、利用権の設定等により耕作放棄地の再生を図ります。</p>
	<p>○環境保全型農業直接支払対策事業等 （１）エコファーマー制度 持続性の高い農業生産方式（たい肥等による土づくりと化学肥料、化学農薬の低減を一体的に行いながらも、生産量や品質は水準を維持し、より良い営農環境を保っていくための生産方式）の導入計画を作成した農業者を認定しました。 ・認定件数：76 件（H25.3.31 現在） ・新規認定件数 H23：71 件、H24：2 件 ※H23 については、振興作物の栽培に取り組んでいるJA広島中央野菜振興協議会の構成員が認定を受けたことにより、認定件数が急増しました。 （２）環境保全型農業直接支払対策事業 エコファーマーで、地球温暖化防止活動等の環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者等又は有機農業者による販売を目的とした活動に対して支援しました。 ・支援件数等 H23：4 件 694a、H24：10 件 1,232a</p>	<p>農業従事者の高齢化、後継者不足等の理由により耕作放棄地が増加しています。その対策として農地の幹旋等について積極的に周知し、利用権の設定等により耕作放棄地の再生を図ります。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地対策 最善の環境対策であり、方向性は妥当です。 農林水産業の衰退こそ、生態系の破壊の原因です。農林、漁業の放棄が広がると国全体の環境が悪化します。 	<p>農業委員会</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・エコファーマーの認定件数が目標値を大きく上回っています。 ・近年、かつての農村地帯で宅地開発が進み、住宅が増えると、堆肥など有機肥料の臭いに対する苦情が増えることが考えられます。農業と住宅を共存させるためには、農業についての環境学習を進めることが大事です。皆さんは減農薬の野菜を食べたい一方で、有機肥料の臭いを嫌います。環境学習にこのようなこともどんどん取り入れていく必要がありますが、環境学習時間が減っていることは残念です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコファーマーの認定について 最善の環境対策であり、方向性は妥当です。生態系の維持(水・空気・土地の良質化)、エコ活動の奨励と誘因、業者支援活動など、農林水産業の保全や更なる拡充強化が必要です。 ・減農薬推進は、補助や指導が必要かもしれません。 	<p>農林水産課</p>

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○農林水産物販路拡大推進事業</p> <p>(1) 引き続き、東広島ブランド推奨マーク使用者及び地産地消応援店認定店の登録を行い、農林水産物の消費拡大、地産地消の推進を行いました。</p> <p>・H24 の認定数：11 件（累計 71 件）</p> <p>(2) 3 月 2 日に地産地消フェスティバルを開催しました。春の西条醸華町まつりとの同時開催により、集客が増加しました。</p> <p>(3) 地域イベントや量販店等で東広島産農林水産物のPRを行いました。</p>	<p>引き続き、ブランドマークやイベント等による地元産農林水産物のPRを行い、販路拡大及び地産地消を推進します。</p>
	<p>○漁場環境保全創造事業（海底清掃）</p> <p>2 月 4 日から計 13 日間かけて、3.2 km²のエリアの海底を清掃し、ビニール等のゴミを除去しました。</p>	<p>3 年間の国の事業採択を受けており、平成 25 年度、平成 26 年度も引き続き実施します。</p>
市民	<p>○平成 24 年度広島大学生物生産学部新入生オリエンテーションDAY キャンプ林野作業</p> <p>森林整備（除伐作業、搬出材のチップ化作業）とその指導を行いました。また、スタッフのみで炭焼を行いました。</p> <p>・開催場所：東広島市憩いの森公園</p> <p>・参加者数：新入生 106 人、 上級生スタッフ 41 人 計 147 人</p>	
	<p>○第 7 回エコクッキング in 下黒瀬小学校</p> <p>地産小麦を使ったクッキー作りや黒瀬のジャガイモを使用した保温じゃがいもの作成を行いました。</p> <p>・参加者数：67 名（生徒・先生等）</p>	
	<p>○うどんづくり</p> <p>地球温暖化・地産地消等の環境学習を行い、地産小麦粉を使ったうどん作り体験後に乃美尾小学校の全校生徒が試食しました。</p> <p>・開催場所：乃美尾ふれあい館・乃美尾小学校</p> <p>・参加者数：120 名（乃美尾小学校 1、2 年生・先生等）</p>	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
	<p>・地域ブランド（東広島ブランド）について フードマイレージ、第一次産業の活性化、市の活性化はつながっている。市主導で、六次産業化を視野に入れた取り組みがあると良い。</p>	<p>農林水産課</p>
<p>・農業に対する市民の理解は必要です。</p>		<p>西条・山と水の環境機構</p>
		<p>エコINNくろせ</p>

巻末資料 環境保全に関する取り組み一覧

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	<p>○石焼き芋作り 自作の石焼きいも窯で、生徒たちの育てた芋を焼いて食べました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：乃美尾小学校 ・参加者数：111 名（生徒・先生等） 	
事業者	<p>○山のグラウンドワーク（第55回～第59回） 森林整備（除伐作業：約9, 500㎡以上、材のチップ化：体積量約35㎡とチップによる堆肥づくり、外来植物「セイダカアワダチソウ」他の除去）、炭焼き、木質ペレットづくり、薪割り、整備エリアの植生調査等を行いました。</p> <p>また、バイオマス講習やペレタイザー実演などの運営委員による講義も行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：東広島市憩いの森公園 ・参加者数：述べ 1,202 人（一般市民・大学生・高校生・企業関係者・スタッフ等） 	
	<p>○山林の下刈、間伐作業 指定山林の下刈、間伐作業を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：田口森林組合 ・参加者数：従業員 3 人 	
	<p>○山のグラウンドワーク 林内の除伐作業を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：憩いの森公園 ・参加者数：12 人（職員） 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		エコINNくろせ
	<p>・公私問わずに、市全域の保全活動への参加や支援は大変有難く貴重なことです。</p>	西条・山と水の環境機構
		平原建設(株)
		賀茂地方森林組合

② 自然とのふれあいの推進

取組主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○自然公園管理事業</p> <p>施設の維持管理に間伐材を使用しました。また、適宜、間伐を行い森を管理しやすい環境に努めました。</p>	<p>森の育成管理のため、間伐など継続して行いたいと考えています。</p>
市民	<p>○アクアフェスタ（第 13 回）</p> <p>「水はいのち」をテーマに源流からの発信として、イベントの中に環境の大切さを訴えました。ウォーターバー、アイガモレース、水のモニュメント、里川水族館、動物ふれあい広場、ヤマメのつかみどり、ホテルの幼虫展示、献血車登場、消防車登場などに加え、公衛協と協力してゴミゼロ運動他を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：福富道の駅 ・開催時期：10 月 	
市民	<p>○沼田川探検</p> <p>小学生を対象に、沼田川を探検する授業を開催しています。授業では、まず教室で、沼田川に生息している虫や魚について写真などを使い子供たちに説明しました。その後、子供たちに沼田川へ入ってもらい様々な生物に触れ合ってもらいました。それによって、子供たちの地元の自然を愛する心を育てることを目的としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：沼田川 ・開催時期：7 月頃 ・参加対象：河内西小学校 2～3 年生 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		都市整備課
		アクアフェスタ in 福富実行委員会
		檜山 義記氏 古田 正晴氏

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	<p>○松板川を探る会</p> <p>おやじの会の方々が先生となり、小学生にヨシノボリやオイカワなど松板川に棲む生き物の紹介をしました。また、みんなで川に入り、生き物を観察したり、採集したりしました。子供たちは、採集した魚を大事そうに水槽に入れ、熱心に観察していました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期：7月末の土曜日 ・参加対象：板城小学校の小学生・先生・保護者・おやじの会 	
	<p>○ホタルまつり（志和堀）</p> <p>平成 24 年度は 26 回目の開催で、多くの来場者がありました。来場者は日没後に半川を散策し、ホタルの乱舞を觀賞しました。</p> <p>また、平成 23 年にはホタル養殖プロジェクトチーム（64 名）を立ち上げて養殖開始し、平成 24 年もホタルの養殖を行いました。この他、先進地視察を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：志和堀小学校 ・開催時期：6月上旬 ・来場者数：4,800 人 	<p>散策道を広くしたり、沿道にあじさいを植えるなどして、道路を整備しました。また、来場者用の駐車場を拡張しました。</p>
事業者	<p>○【再掲】山のグラウンドワーク（第55回～第59回）</p> <p>森林整備（除伐作業：約9,500㎡以上、材のチップ化：体積量約35㎡とチップによる堆肥づくり、外来植物「セイダカアワダチソウ」他の除去）、炭焼き、木質ペレットづくり、薪割り、整備エリアの植生調査等を行いました。</p> <p>また、バイオマス講習やペレタイザー実演などの運営委員による講義も行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：東広島市憩いの森公園 ・参加者数：述べ 1,202 人（一般市民・大学生・高校生・企業関係者・スタッフ等） 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		板城地域センター おやじの会 板城小学校
		志和堀ホテル の会
・農業に対する市民の理解は必要です。		西条・山と水の 環境機構

3 生物多様性の保全

取組主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○文化財基礎調査事業</p> <p>椋梨川上流でオオサンショウウオの生息調査を行い、そのことについて次の論文が発表されました。『東広島市豊栄町に生息する国の特別天然記念物オオサンショウウオの保全に向けた実践的研究』(広島大学大学院生物圏科学研究科生物資源科学専攻 山崎 大海)</p>	<p>以下について今後調査します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼生の離散と用水路の開門の関係性 ・成体の生息分布調査
	<p>○技術的に可能な箇所に環境保全型ブロックを使用した河川整備</p> <p>環境保全型ブロックを使用した河川改良工事を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川数：2 河川 ・延長 L=104.0m 	<p>河川規模やコスト縮減等の観点からすべての河川において環境保全型ブロックの使用は、困難です。繰越事業については完了年に整備数量を計上します。</p>
	<p>○都市公園の整備</p> <p>龍王山総合公園の整備工事を継続して行いました。また、保全措置の必要性が指摘されているイシモチソウについては、適地を数カ所選択して移植を行いました。</p>	<p>カスミサンショウウオが生息できる環境に配慮しながら公園整備を進めていきます。</p>
	<p>○農地・水保管理支払交付金事業</p> <p>次のとおり農村環境保全活動への支援を行いました。</p> <p>①共同活動（農地・水路等の資源の日常の管理と農村環境の向上に資する活動）：24 地区</p> <p>②向上活動（老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新等の活動）：12 地区</p>	<p>第2期対策期間（平成 24～28 年度）継続予定です。</p>
市民	<p>○野の花ウォーキング</p> <p>絶滅危惧品種のカザグルマなどの自生地を巡るウォーキングを行い、写真やメモなどの記録をして、希少種の保護活動を行いました。また、カザグルマを挿し芽で増やし、地域住民へ配りました。</p> <p>この他に、河内西小学校へ出向き、カザグルマの植付を指導するなどの地域学習も行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：野の花ウォーキングは年4～5回 ・参加対象：地域住民 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
	<p>・沼田川の水質について タカノス山など、オオサンショウウオはまだいるでしょうか。</p>	<p>文化課</p>
	<p>・生態系の維持・保全について 環境保全型農業の維持展開や健全な生態系の維持には、経済効率・土木作業効率・安易な結果だけを求める農業土木から、生物中心に考えた環境保全型へ大きく転換する必要があります。</p>	<p>河川港湾課</p>
	<p>また、自然とは人の手が入った生態系の保全活動で実るものであり、放置されると荒廃します。</p>	<p>都市整備課</p>
	<p>この計画は全てに良く配慮されています。</p>	<p>農林水産課</p>
		<p>自治組織ふれあいの里戸野</p>

4 市街地の保全と整備・創出

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○都市公園の整備 龍王山総合公園の整備工事を継続して行いました。また、街区公園の整備については、寺家五島公園を借地公園として整備を行い、整備が完了しました。</p>	<p>継続して、バランスの取れた公園配置に配慮しながら整備を進めていきます。</p>
	<p>○都市公園管理事業 広報紙や広報番組で情報提供を行いました。</p>	<p>積極的に情報提供を行いながら、公園里親の登録数を増加させていきます。</p>
	<p>○公共施設の緑化 立体駐車場を壁面緑化としたほか、北館屋上に緑のプランターを設置し、屋上緑化を行いました。</p>	<p>本館外構工事において、駐車場等の緑化等にも取り組みます。</p>
	<p>○地区計画による緑化推進 (1) 地区計画制度の活用により、ゆとりある居住空間の確保や生垣の整備等による地域ぐるみの緑化推進を図りました。 (2) 民有地等の緑化の面では、建築物整備の際に緑化を推進し、壁面や柱の位置の制限、垣又は柵の構造の制限を定めました。 (3) 道路に面する部分において、生垣化を推進しました。</p>	<p>成果は平成25年度に調査します。</p>
	<p>○緑化推進事業 森林学習や植樹祭など 12 回の行事を通じて緑の少年団員の育成を行いました。 ※ H24 卒団生：21 名、H25 入団生：27 名 現団員数：70 名</p>	<p>今後も左記団体の活動を通じて団員（小学生）の育成を行います。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
	<p>・市街地の緑の保全と整備・創出について 環境にやさしい町づくりを。土・緑・水は夏の暑さをやわらげ、災害に強い町につながります。</p>	都市整備課
<p>・公園里親制度がありますが、個人的には、取り組みが鈍化しているような感じがします。</p>		
		管財課
		都市計画課
		農林水産課

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○公衆衛生推進協議会が実施する花いっぱい運動の支援</p> <p>(1) ホームページ掲載</p> <p>①公衆衛生推進協議会の組織・活動・募金</p> <p>②主な活動（黒瀬支部の水辺教室、安芸津支部の献血）を掲載しました。</p> <p>※花いっぱい運動は掲載しませんでした。</p> <p>(2) 全市域取組事業の選定</p> <p>廃棄物対策課は公衆衛生推進協議会の事務局として、役員会において、従前の地域清掃活動に加えて、例えば、花・植樹、ほたる、水辺教室・環境研修、EM菌・石鹸・竹炭等といった専門的な事業展開を提案したが不採択でした。</p>	<p>公衆衛生推進協議会は住民自治協議会の設立に伴い、環境部会等と一体的に活動又は外部団体として活動しています。</p> <p>廃棄物対策課は公衆衛生推進協議会の事務局として、引き続き、住民自治協議会や公衆衛生推進協議会の発意による活動を促進していきます。</p>
市民	<p>○花いっぱい運動</p> <p>西条市街地の住民が集まり、講師の先生から季節の花の植え込み方やその花に合った水のやり方などの指導を受け、皆で助け合ってプランターに植え込みを行いました。また、希望の家庭や公的機関に植え込みプランターを運び、花や緑が多い西条市街地を創っています。</p> <p>花いっぱい運動に多くの人に参加することにより、お互いに育てている花をきっかけに声を掛け合うようになるなど、地域内でのコミュニケーションが取りやすくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：中央生涯学習センター ・開催頻度：年に 2 回程度 ・参加者：西条市街地の住民（各回 20～30 人程度） 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		廃棄物対策課
		西条市街地地区 社会福祉協議会

5 歴史・文化的資源と歴史的な町並みの保全・活用

取組主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○（仮称）安芸国分寺歴史公園の整備 地下に残る遺跡を、盛土や芝張などで保護しつつ、公園の修景のために樹木の植栽を行いました。 また、史跡内の遺構や建物跡などを解説する説明板や案内板等の学習施設を整備し、歴史公園のうち、史跡指定地内の整備を終了しました。 この他に、史跡隣接地に駐車場を整備するため、用地交渉等も行いました。</p>	<p>歴史公園のうち、史跡指定地外の整備（歴史公園駐車場及び展望テラス）を平成 25 年度に実施します。 歴史公園利用のための説明パンフレットの作成を平成 25 年度に行います。</p>
	<p>○生涯大学システム運営事業 （1）学習メニューブック 歴史・文化に関するイベント情報等を掲載した学習メニューブックを作成し、生涯学習センター等で市民に提供しました（年 2 回）。 （2）生涯学習まちづくり出前講座 歴史・文化に関する講座等を掲載したリーフレットを作成し、生涯学習センター等で市民に提供しました。 また、市民の申し込みにより、講師を派遣しました。 ・歴史・文化に関する出前講座開催件数：11 件</p>	<p>継続実施します。</p>
	<p>○酒蔵地区、白市地区の景観形成 「酒蔵通り集客・交流促進事業」として、歴史的建築物及びまち並みを構成する工作物等の現存状況を把握するため「歴史的まち並み景観保存調査」を実施しました。 また、市民を対象として、11 月には「酒蔵通り景観シンポジウム」を、平成 25 年 2 月には「酒蔵通り周辺景観保存調査報告会」を開催し、講演やパネルディスカッションにより酒蔵通りの魅力等についての情報発信を行いました。</p>	<p>酒蔵地区の景観保全については、制限により利害が伴う地域住民の方々と酒造会社が一緒になって合意形成を図って行く必要があることから、保全のための各種方策やまちづくりについて、酒蔵地区まちづくり協議会で協議・研究を重ね、地元説明会等を開催しながら合意形成を図っていきたいと考えています。</p>
	<p>○景観形成の推進 散策道の整備（道路の美装化）や案内看板設置の工事を継続して行いました。</p>	<p>白市景観形成委員会と事業の優先順位等を協議し、推進していきます。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		文化課
		生涯学習課
	<p>・歴史・文化的資源と歴史的な町並みの保全・活用について 酒蔵という財産がありながら、マンションの乱立により景観が損なわれています。古いものは作れません。壊すより残すことを考えないと取り返しがつかないことになります。</p>	都市計画課
		都市整備課

巻末資料 環境保全に関する取り組み一覧

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	<p>○乃美尾用水路の見学 乃美尾用水路の生い立ち、役割、水の大切さについて学習してもらいました。</p> <p>(1) 農業用水路の見学と話 (2) 水路とは (3) 乃美尾井堰の由来（脇万左衛門翁の話)</p> <p>・開催場所：乃美尾用水路、土地改良碑、井堰 ・参加者数：23 名（小学生・先生等）</p>	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
	<ul style="list-style-type: none"> ・黒瀬地区の育成会活動について 地域を通して環境をよく知ることが出来ます。近隣の有識者、親子ふれあい活動となり、情操教育にも役立ちます。また、夏休みの思い出づくりにも有用です。大人になってふる里を思い出すことにもなります。 ・黒瀬地区の小学校での取り組みについて 各地域の特性を折り込んで、子供たちが郷土を知り、生活環境を知り、将来に向かっての夢と思い出づくりに役立ちます。地域の取り組みに共感・敬服します。 	<p>エコ INN くろせ</p>

⑥ 潤いある市街地景観の創出

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
事業者	<p>○工場敷地内の緑化</p> <p>周囲の恵まれた自然環境を活かし、地域に根付いた企業を目指した緑地の設計を行っています。1990年の工場設立以降、事業拡大の際にも敷地内の緑地面積率を減らすことのないよう配慮し、現在も敷地面積の約半分を緑地として整備しています。また、敷地と道路との境界には、フェンスの代わりに「市の花」であるツツジを植え、春には鮮やかに咲き誇った花を見ることができます。</p> <p>・工場所在地：田口研究団地</p>	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		ベバストジャパン(株)

7 健全な水質と水循環の確保

取組主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○下水道管路の整備</p> <p>市民生活の環境改善と公共用水域の水質保全を目的として、生活排水を適切に処理するための下水道管路の整備を実施し、快適で魅力ある住環境の整ったまちづくりを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道管路設計業務 11 件 ・下水道管路建設工事委託 0 件 ・下水道管路建設工事 15 件 延長 6,739.7m ・その他業務 3 件 	<p>平成 24 年度内の完成ができず、平成 25 年度への繰越工事となったものについては、早期の効果発現を目指し工事を進めていきます。</p>
	<p>○小型浄化槽設置整備への支援</p> <p>(1)浄化槽設置費補助交付</p> <p>交付件数は、5人槽261基、7人槽93基、10人槽13基でした。</p> <p>(2)法定検査受検の指導</p> <p>平成23年に法定検査を受けていない浄化槽（11,382基）の管理者に対し法定検査受検の指導を行うことにより、受験率の向上が図れました。</p> <p>(3)浄化槽維持管理講習会</p> <p>浄化槽法第7条法定検査の受検対象者350名を対象とし、10月29日に浄化槽維持管理講習会を実施しました。講習会には外部講師を招き、水環境問題に関する講演も行い、浄化槽の維持管理の必要性を広く理解してもらえものとなりました。</p>	<p>浄化槽設置については、引き続き維持管理に関する周知を行っていくこととします。</p> <p>浄化槽維持管理講習会は毎年開催することとし、講演会参加者を増やす工夫（他のイベントと協賛等）を検討します。</p>
	<p>○市内の畜産農家から発生した家畜排せつ物等を原料としたたい肥を投入した農業者に補助を行いました。</p> <p>①水稲に対する補助（有機良質米生産促進事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H24実績：178件、3,513.8トンの堆肥を1,698ヘクタールに投入 <p>②野菜に対する補助（産地育成事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H24実績 51件、771.4トンの堆肥を120ヘクタールに投入 	<p>取り組み件数、投入面積の増加に向けて、引き続き制度のPRを行います。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
	<ul style="list-style-type: none"> ・七ツ池の悪臭について 八本松町の七ツ池の水質が非常に悪いです。日興団地周辺的生活排水が全部流れ込むのが原因です。1日も早く下水道管への接続をしてほしいです。 特に夏から秋にかけて水温が高い時期、水量が少ない時期は温井川水系では、水の色は緑色に変色し悪臭を放ちます。七ツ池下流での稲作農家では長年にわたり大迷惑を被っています。 	<p style="text-align: center;">下水道建設課</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・沼田川の水質について 排水が直接放流のところもまだ多い。河川を汚さないように自覚を高める必要がある。河川の草などをどれくらい残すのか。 	<p style="text-align: center;">環境対策課</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・沼田川の水質について 減農薬推進は、補助や指導が必要かもしれません。 	<p style="text-align: center;">農林水産課 園芸センター</p>

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○出前講座による啓発</p> <p>広域的な環境の保全につなげることを目的として、「川を通じて地域の環境を学ぶ」と題した出前講座を実施しました。出前講座実施にあたっては、ため池の周辺住民やため池周辺の小学校への働きかけによって行われたものもありました。</p> <p>・開催回数：5回</p>	<p>地域への働きかけが十分ではありませんでした。住民自治協議会の環境部会等と連携し、家庭や事業所でできる水を汚さない取り組みなど環境保全活動の活発化を図ります。</p>
	<p>○下水道の普及啓発</p> <p>(1) 下水道出前講座の開催</p> <p>市の職員が市内 13 の小学校を訪れ、小学校 4 年生およそ 600 人を対象に下水道出前講座を行いました。出前講座では、クイズ・実験を通じて下水道の仕組み・役割に対する理解を深めるとともに、正しい使い方について知ってもらい、下水道普及啓発に努めました。</p> <p>(2) 東広島浄化センターの見学</p> <p>市内 3 の小学校や、市民からの見学依頼により、約 600 人の市民が、浄化センターを訪れ、下水が実際にきれいになる様子を見てもらい、下水道に対する関心を高めてもらいました。</p> <p>(3) 下水道コンクールの開催</p> <p>下水道への理解を深めてもらうことを目的として、小・中学生から絵画及びポスターを、市民から標語を募集したところ、700 点を超える応募がありました。優秀作品には市長が直接表彰し、下水道普及促進の一環として、工事現場やイベントなどで展示を行うなどしました。</p> <p>(4) 環境フェアへの出展</p> <p>環境フェア 2012 へ出展し、下水道の普及啓発活動を行いました。</p>	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
	<p>・沼田川の水質について 排水が直接放流のところもまだ多くあります。河川を汚さないように自覚を高める必要があります。河川の草などをどれくらい残すのでしょうか。</p>	<p>環境対策課</p>
		<p>下水道管理課</p>

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○水質改善モデル業務 東広島市内のため池 2 箇所に、底質改善材を設置し、その前後で水質検査及び底質検査を実施しました。</p> <p>また、付近住民及び地元の小学校へ働きかけを行い、改善材の設置体験や池の生物観察、池の水の流れについての環境学習を行いました。</p>	<p>底質改善材の設置後のモニタリングの実施。また、地域の環境保全活動との連携も引き続き行っていきます。</p>
	<p>○地下水データ収集</p> <p>①庁内各課で持っている地下水の水質検査データ及び地下水に関する研究論文を収集しました（22 施設 22 地点分、1 論文）。</p> <p>②地下水の水質検査データを持っている市内事業者等から、データを取得しました（20 施設 21 地点分）。</p>	<p>収集したデータにおいて地下水の水質保全に活用できるものを判別します。</p> <p>また、データに基づく市内の状況を整理します。</p>
	<p>○ひろしまの森づくり事業・造林事業</p> <p>（1）ひろしまの森づくり事業 水源のかん養など森林の持つ公益的機能の維持・増進を目的として、放置され荒廃した人工林の再生、里山林整備、森林・林業体験活動の支援、間伐材の利用対策、森林・林業に対する PR 活動など、森林を守り育てる取組を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境貢献林整備事業（間伐）：15.7ha <p>（2）造林事業 森林所有者に対して除伐、間伐、下刈、植栽などに要する経費の一部を補助することで、森林整備と森林保全を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援を行った造林事業：119.37ha 	<p>今後も事業の有効活用による支援を行います。</p>
	<p>○雨水利用 雨水を屋外散水及びトイレの洗浄水として使用し、節水に努めました。</p>	<p>継続して利用します。</p>
	<p>○雨水利用 本庁舎に関しては、本館に雨水利用設備を設置が完了し、飲料用以外の水（トイレの水など）について雨水を利用しています。</p>	<p>支所・出張所には設備が無いため、建て替え時をとらえて導入を目指します。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
	<p>・沼田川の水質について 排水が直接放流のところもまだ多くあります。河川を汚さないように自覚を高める必要があります。河川の草などをどれくらい残すのでしょうか。</p>	環境対策課
		農林水産課
		消防総務課
		管財課

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
事業者	<p>○籾殻燻炭の活用</p> <p>(1) 二酸化炭素の削減（地球温暖化防止・炭素の土中固定化）</p> <p>市販及び手作りの燻燃器を用いて籾殻燻炭を作り、圃場に播き炭素の土中固定化を行いました。</p> <p>燻燃器3台で0.6ha分のもみ殻（約200 ㎏袋×40）を作り散布、起耕しました。</p> <p>(2) 稲作（無農薬栽培の推進）</p> <p>籾殻燻炭作りの副産物として出来る籾酢液を動噴で100 ㎏/10a（200倍液）を田圃に散布し、ウンカ、イモチ病、紋枯病の防除を行いました。特にイモチ病、紋枯病には良く効きます。</p> <p>燻炭は土中に撒くと、土中の菌が燻炭の微小な穴に棲みつき、土壌改良にもつながります。また、出穂前に木酢液を散布したところ、近隣でウンカが出て出なかったことがありました。</p>	
	<p>○龍王山憩いの森一帯の水質・水量定点観測調査</p> <p>龍王山の山のグラウンドワーク（手入れ作業）エリア付近を流れる川や水路、湧水の水質や水量の調査を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：東広島市憩いの森公園 ・参加者：広島国際学院大学工学部 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
<p>・近年、かつての農村地帯で宅地開発が進み、住宅が増えると、堆肥など有機肥料の臭いに対する苦情が増えることが考えられます。農業と住宅を共存させるためには、農業についての環境学習を進めることが大事です。皆さんは減農薬の野菜を食べたい一方で、有機肥料の臭いを嫌います。環境学習にこのようなこともどんどん取り入れていく必要がありますが、環境学習時間が減っていることは残念です。</p>		<p>三谷 信夫氏</p>
		<p>西条・山と水の 環境機構</p>

8 水辺環境の保全とふれあいの創出

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○道路河川維持管理作業に対する報償金の交付 道路河川維持管理作業に対する報償金を交付しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ団体数 : 199 団体 ・延べ作業員数 : 9,221 人 	
市民	<p>○竹炭を使った河川浄化 竹藪の整備により切り出した竹から竹炭を作り、河川浄化に使いました。</p>	
	<p>○炭を使った河川浄化 地域の間伐材などを用いて炭を作り、それを入野川の支流に設置して入野川の水質浄化に取り組みました。</p> <p>また、地元の子供たちに美しい自然を知ってもらい、これを守る大切さを感じてもらうために、入野小学校の児童にも炭の設置に参加してもらいました。このような活動を通して、子供たちの郷土愛を育みたいと考えています。</p>	
	<p>○八本松小学校環境学習 小学 4 年生を対象に、七ツ池周辺の生物調査及び環境学習・ゴミ拾いを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 : 100 人程度 	
	<p>○黒瀬町内河川一斉清掃 黒瀬川の河岸や河川沿いの道路のゴミ拾いや草刈りを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期 : 2 月頃 ・参加対象 : 黒瀬町民 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
	<ul style="list-style-type: none"> 川の中の生物が少なくなってきました。 	維持課
	<ul style="list-style-type: none"> 川の中の生物が少なくなってきました。 	エコINNくろせ
		入野の環境を考える委員会
	<ul style="list-style-type: none"> 川の中の生物が少なくなってきました。 	かっぱのおうち
		公衆衛生推進協議会（黒瀬）

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	<p>○【再掲】沼田川探検</p> <p>小学生を対象に、沼田川を探検する授業を開催しています。授業では、まず教室で、沼田川に生息している虫や魚について写真などを使い子供たちに説明しました。その後、子供たちに沼田川へ入ってもらい様々な生物に触れ合ってもらいました。それによって、子供たちの地元の自然を愛する心を育てることを目的としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：沼田川 ・開催時期：7月頃 ・参加対象：河内西小学校2～3年生 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		<p>檜山 義記氏 古田 正晴氏</p>

9 きれいな空気や静かな環境等の保全

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性												
市	<p>○市道整備事業</p> <p>(1) 平成 24 年度における市道改良のうち、交差点改良（右折レーン設置等）を2か所を発注</p> <p>①滝原中郷線：一般県道下三永吉川線との交差点（T字）</p> <p>一般県道は、東は国道 375 号、西は吉川工業団地方面への通勤・物資輸送の車両、また、市道は県立障害者リハビリテーションセンター及び当該施設に隣接する住宅団地の車両交通量が近年顕著に増えています。交差点改良により、視距の改善が図れ停車時間が減少するとともに交通渋滞が緩和されます。</p> <p>②一町田吉行線：市役所前のプールバール（一般県道西条停車場線）との交差点部</p> <p>本路線は、DID 地区内で終日市役所や金融機関への出入りが多く、さらに道路幅員も狭小で、渋滞が絶えない状況ですが、改良により通過交通の円滑化が図れます。</p> <p>(2) 市道認定された道路の改良率</p> <table border="1" data-bbox="359 1339 946 1731"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 23 年度</th> <th>平成 24 年度 (前年度比)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線実延長</td> <td>2,167,944m</td> <td>2,171,690m (+3,746m)</td> </tr> <tr> <td>改良延長</td> <td>1,228,761m</td> <td>1,235,307m (+6,546m)</td> </tr> <tr> <td>改良率</td> <td>56.7%</td> <td>56.9% (+0.2%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>以上により、車両の停車時間、渋滞や離合時における通行車両の円滑化が図れ、排気ガス及び騒音の低減に寄与しました。</p>		平成 23 年度	平成 24 年度 (前年度比)	路線実延長	2,167,944m	2,171,690m (+3,746m)	改良延長	1,228,761m	1,235,307m (+6,546m)	改良率	56.7%	56.9% (+0.2%)	<p>さらなる交通の円滑化のため、幹線道路、公共施設、企業誘致等の計画を行っている機関と密な連携を図り、道路網整備を総合的に検討していくことが課題です。</p> <p>今後の方向性としては、現道拡幅だけでなく、一車線道路の待避所や迂回ルート（バイパス）等についても選択肢に入れながら、効率的・効果的な整備手法を決定していきます。</p>
	平成 23 年度	平成 24 年度 (前年度比)												
路線実延長	2,167,944m	2,171,690m (+3,746m)												
改良延長	1,228,761m	1,235,307m (+6,546m)												
改良率	56.7%	56.9% (+0.2%)												

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
<p>・騒音の適合率が下がっています。 市の今後の対応を問います。</p>		<p>道路建設課</p>

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性												
市	<p>○パーク＆ライドの推進 パーク＆ライド対象駅周辺駐車場の登録状況及び利用状況は以下のとおりでした。</p> <table border="1" data-bbox="323 526 946 772"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成23年度末</th> <th>平成24年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録駐車場 箇所数</td> <td>25箇所</td> <td>26箇所</td> </tr> <tr> <td>利用台数</td> <td>683台</td> <td>707台</td> </tr> <tr> <td>空き状況</td> <td>155台</td> <td>138台</td> </tr> </tbody> </table>		平成23年度末	平成24年度末	登録駐車場 箇所数	25箇所	26箇所	利用台数	683台	707台	空き状況	155台	138台	<p>パーク＆ライド対象駅周辺駐車場の空き状況の情報提供を行い、利用者の増加を目指します。</p>
		平成23年度末	平成24年度末											
	登録駐車場 箇所数	25箇所	26箇所											
利用台数	683台	707台												
空き状況	155台	138台												
<p>○公用車管理事務</p> <p>①車検満了時に合わせ、公用車を削減しました。 ・平成23年度末 236台 → 平成24年度末233台</p> <p>②軽自動車の割合は以下のとおり変動しました。 ・平成23年度末 57% → 平成24年度末 59%</p>	<p>買取車については、古いものも多く、低排出性能が伴っていないものも多いため、車検満了時を見計らい、切り替えを行っていきます。また、業務によっては普通自動車・貨物自動車であればならない場合もあるので、この点については検討が必要です。</p>													
<p>○野焼き防止対策（ダイオキシン対策を含む。）に関すること</p> <p>（1）野焼き指導（旧市分のみのデータ）</p> <p>①苦情者からの電話等により、対応した件数は66件でした。 （現場対応は、家庭ごみ・農業草は1人対応、事業系は2人対応としています。）</p> <p>②野焼パトロールを実施し、平成25年1月～3月の7回（土日中心、旧市のみ実施）55件対応しました。 （現場対応は、1人で実施しています。）</p> <p>※晴天の日・乾燥した時期に、煙を目指して野焼き現場に行けば良いので対応しやすく、効率的でした。</p> <p>（2）ホームページ掲載 上記②の結果を掲載しました。</p>	<p>野焼きは消防関係（火災予防）・農林関係（農業の畦焼き）の部署とも関連があり、連携を検討します。</p> <p>また、きれいなまちづくりキャンペーンの回覧文書の裏面に、野焼き禁止・不法投棄禁止の説明文書を掲載し、継続する予定です。</p>													

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
<p>・騒音の適合率が下がっています。 市の今後の対応を問います。</p>		<p>都市計画課</p>
		<p>管財課</p>
		<p>廃棄物対策課</p>

10 廃棄物の排出抑制と循環的利用の促進

取組主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○ごみ減量化及び資源化の推進</p> <p>(1) 分別冊子「ごみブック」を作成し全戸配布 製作費：@31.92円×98,000冊=3,128,160円</p> <p>(2) 啓発用 DVD 等の資料を作成 安芸津以外版、安芸津版の2種類でそれぞれ成人用（10枚）と子供用（10枚）を作成しました。併せて DVD の内容とリンクしたパワーポイント資料も作成しました。 製作費：2,467,500円</p> <p>(3) 使用済小型家電回収県モデル事業を実施 呉市と共同で回収実験実証を行いました。実証実験の結果から、家電量販店が持ち込みやすい場所の1つとして考えられますが、家電量販店が認定事業者になり回収した場合は、そちらに市民が持ち込む量が多くなり、市町の回収量が減るため、回収事業の便益も減少することが判りました。</p> <p>(4) 古着古布のイベント回収及びモデル事業を実施 環境フェア（110kg回収）、生涯学習フェスティバル（2,750kg回収）でのイベント回収及び東西条地域センターでの拠点回収により実証実験をしました。</p>	<p>今後は、今回作成した資料（分別冊子、啓発用DVD）を活用し、ごみの減量啓発講座を開催します。また、市公共施設及び地域センターの協力により古着古布の拠点回収、また、使用済小型家電回収事業については国の認定事業者と協議をし、今後の回収方法等について検討します。この他、広島中央環境衛生組合管内での連絡調整により、今後のごみの減量施策等について協議します。</p>
	<p>○固形状一般廃棄物処理事業</p> <p>(1) 分別冊子「ごみブック」を作成し全戸配布 製作費： @31.92円×98,000冊=3,128,160円</p> <p>(2) 啓発用 DVD 等の資料を作成 安芸津以外版、安芸津版の2種類でそれぞれ成人用（10枚）と子供用（10枚）を作成しました。併せて DVD の内容とリンクしたパワーポイント資料も作成しました。 製作費：2,467,500円</p>	<p>作成した分別冊子とDVD及びパワーポイント資料により減量啓発講座を開催し3Rの実践を啓発していきます。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
<p>・ごみブックは近所でも評判が良いです。このような形で今後もいろいろな情報発信と啓蒙活動をお願いしたいです。</p> <p>・ごみの有料化については、以前から審議会でも議論していますが、市民1人1日当りのごみ排出量は増えています。ごみの量が減らないと、有料化になってしまいます。議論したときは市民の多くが気を付けなければと思ったのですが、少し忘れられているのではないのでしょうか？ごみの減量化について、市民にもっと働きかける必要があります。</p>	<p>・古着等の回収について 好評なので継続してほしいです。</p> <p>・ゴミについて 「有料ごみ袋制度」を採用した以上、後は据置きか値上げかだけの問題です。 資源ごみのリサイクルに力を入れるべきです。</p> <p>・ゴミの排出抑制と再利用の促進について 市では廃棄物の排出量抑制の推進として、ゴミ袋の値上げをされるようですが、抑制の目的や計画等について市民に十分PRをしないと中心部（都市部）のゴミは減るかもしれませんが、周辺部（農村部）はビン・カン・ペットボトル等の不法投棄が増え、環境悪化を招かないかという懸念があります。</p>	<p>廃棄物対策課</p>
<p>・ごみブックは近所でも評判が良いです。このような形で今後もいろいろな情報発信と啓蒙活動をお願いしたいです。</p>		

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○生ごみ処理容器購入者に対する補助金及びごみ減量化施策</p> <p>(1) 平成 24 年度実績 当初予算 3,030 千円 (補正後 1,896 千円) に対して、補助実績額 1,281 千円・補助基数 163 台でした。</p> <p>(2) ホームページ掲載 減量モニターによる生ごみ減量実践について掲載しました。</p>	<p>年々実績額・基数が減少しています。生ごみの減量がごみの減量化に繋がりますのでホームページを通じてPRする必要があります。</p>
	<p>○固形状一般廃棄物処理事業</p> <p>ごみ減量化(家庭ごみ有料化)施策の一環として、廃食油回収等の事業化の有効性及び可能性について検討しました。</p>	<p>導入自治体の動向を調査研究し、事業化の有効性及び可能性について継続して検討します。</p>
	<p>○広島中央環境衛生組合負担金</p> <p>処理方式、施設運営方式等を専門的に検討する技術検討委員会を設置する準備ができました。</p> <p>また、地元説明及び地権者である国との調整に予定以上の時間を要しましたが、概ね合意に達しました。</p>	<p>地権者と地元合意に時間を要したため、環境影響評価及び施設基本設計業務等の事業スケジュールが若干遅れたので、平成 32 年度の供用開始に向けたスケジュール調整が必要となります。</p>
	<p>○資源回収推進団体の育成支援(回収見込量 3,100 トン)</p> <p>(1) 平成 24 年度実績 当初予算 16,740 千円(補正後 15,584 千円)に対して、報償金実績額 14,490 千円でした。</p> <p>平成 24 年度実績の内、古紙が 94%・2,501 トンを占め、行政回収の 2,280 トンより多くなりました。また最近、各スーパーで古紙の拠点回収機が設置され個人での利用が増加しています。</p> <p>(2) ホームページ掲載 回収団体の活動取材し掲載予定でしたが、掲載できませんでした。</p>	<p>年々実績額が減少しています。住民自治協議会の設立に伴い、地域の活動資金として活用できること等から、回収活動が盛んな地区を取材し、ホームページを通じてPRする必要があります。</p> <p>また、回収品目の追加、報償金額のアップ等を検討する余地があります。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
<p>・ごみの有料化については、以前から審議会でも議論していますが、市民1人1日当りのごみ排出量は増えています。ごみの量が減らないと、有料化になってしまいます。議論したときは市民の多くが気を付けなければと思ったのですが、少し忘れられているのではないのでしょうか？ごみの減量化について、市民にもっと働きかける必要があります。</p>		
		<p>廃棄物対策課</p>
<p>・ごみの有料化については、以前から審議会でも議論していますが、市民1人1日当りのごみ排出量は増えています。ごみの量が減らないと、有料化になってしまいます。議論したときは市民の多くが気を付けなければと思ったのですが、少し忘れられているのではないのでしょうか？ごみの減量化について、市民にもっと働きかける必要があります。</p>	<p>・ゴミについて 「有料ごみ袋制度」を採用した以上、後は据置きか値上げかだけの問題です。 資源ごみのリサイクルに力を入れるべきです。</p>	

巻末資料 環境保全に関する取り組み一覧

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	○東広島リサイクルショップ 資源愛護、ゴミの減量をはかる目的で、市民からの不用品の提供を受け、リサイクル品として格安で販売しました。	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		NPO 法人志和堀 DNA.NET

11 不法投棄対策の推進

取組主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○不法投棄防止啓発看板及び犬のフン放置防止啓発看板の作成・配布</p> <p>(1) 看板及び支柱を作成 次のとおり、看板や支柱を作成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄防止啓発看板 160 枚 ・犬のフン放置防止啓発看板及び支柱 105 枚(本) ・不法投棄監視中(カメラ設置) 看板及び支柱 40 枚(本) <p>(2) ホームページ掲載 平成24年度は行いませんでした。</p>	<p>看板の作成は継続し、ホームページに掲載する予定です。</p>
	<p>○本市及び環境保全監視員による不法投棄監視パトロール及び収集 ホームページ掲載の有無については次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①不法投棄監視パトロール及びごみ処理業務 →掲載しました ②不法投棄夜間監視パトロール(重点監視地点) →掲載しました ③環境保全監視員による不法投棄監視パトロール及び収集 →掲載しませんでした ④地域清掃活動をする団体に対するごみ袋の提供及び収集 →掲載しませんでした ⑤上記以外の収集区域において、職員自らによる不法投棄ごみの回収(ボランティア) →掲載しました 	<p>今後も継続します。</p> <p>※左記⑤については、平成 25 年 1 月に新庁舎の完成に伴い、回収したごみの水洗い場所・一時保管場所がないため、不法投棄ごみの回収は中断しました。その代わりに、平成 25 年 1 月から野焼パトロールに活動をシフトさせました。</p>
	<p>○不法投棄の土地所有者に対する指導、助言を行う</p> <p>違法に投棄された廃棄物を発見した場合、関係機関(県及び警察)と連携して投棄者又は土地所有者に指導、助言を行いました。また、不法投棄に関する情報をホームページに掲載しました。</p> <p>ホームページ掲載は、大量のタイヤが不法投棄された事例を掲載しました。</p>	<p>今後大規模な不法投棄の事例があれば、ホームページに掲載します。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄防止対策について 東広島市公衆衛生推進協議会（環境保全監視員）が不法投棄の監視・見回りをしていますが、シルバー人材センターの人たちも見回りをしています。シルバーに監視も任せて、監視員への財源を見直してみてもいいのではないでしょうか。 ・不法埋立処分に対する指導・管理について 建設残土など不法埋立処分等について市役所で厳しく指導・管理・徹底してほしいです。 	廃棄物対策課
	<ul style="list-style-type: none"> ・不法埋立処分に対する指導・管理について 建設残土など不法埋立処分等について市役所で厳しく指導・管理・徹底してほしいです。 	

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○きれいなまちづくりキャンペーンの実施 平成 24 年度は、実施後にホームページに掲載しました。また、各大学に参加要請しました。</p> <p>①平成 24 年 10 月広島大学に訪問し、広島大学を会場として開催されることを依頼しましたが、開催されないことになりました。</p> <p>②その他の大学は訪問していません。</p>	<p>地区・町毎により、参加人数が全く違っており、黒瀬町が一番多かった。住民自治協議会の設立に伴い、町毎の参加者を公表する方法も考えられます。</p>
	<p>○環境教育（広報・HP 等）に関すること</p> <p>（1）環境学習・出前講座等を実施しました。</p> <p>（2）ごみを捨てにくい環境づくり・意識づくり美化推進キャラクター・『きれもも』を作成し、ホームページに掲載しました。</p> <p>（3）活動支援については、環境保全の実践活動や教育啓発活動への支援、不法投棄ごみ回収支援（私有地）の拡大を検討しました。</p>	<p>今後もキャラクターを使用し PR します。不法投棄ごみの回収・パトロールを東広島市シルバー人材センターに委託していますが、平成 23 年度は 200 トン回収、平成 24 年度は 169 トン回収し大幅に減少しました。減少の理由は不明ですが、キャラクターによる PR も減少の理由の一つかもしれません。</p>
	<p>○環境美化教育</p> <p>小学校 4 校、中学校 7 校が、学校の魅力ある教育活動を支援する本市の魅力アップ事業を活用して、環境の整った美しい学校、子どもたちにとって夢のある楽しい学校づくりを行い、子どもたちの豊かな心を育てていく特色ある取組を実践しました。</p> <p>アルミ缶やペットボトルキャップの回収に取り組み、環境美化に貢献した学校が見られました。</p>	<p>魅力アップ事業では、短期間の取組で終わってしまう学校も見られるので、年間を通した取組を実践している学校等の成果を他校へ啓発していく必要があります。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
	<p>・きれいなまちづくりキャンペーンについて</p> <p>きれいなまちづくりキャンペーンに参加したましたが、不法投棄を見つけ残念な気持ちになりました。このような活動を通して、ゴミを減らそうという人が一人でも増えるよう、もっと沢山の方に参加してほしいです。</p>	<p>廃棄物対策課</p>
		<p>指導課</p>

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	<p>○第6回やすみつ（保光）川ハウマッチ 広島大生から「みずのはなし」（生き物と水の大切さ）をしてもらった後、魚とりやゴミ拾い等を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：乃美尾ふれあい館・保光川 ・参加者数：57名（児童・保護者・来賓等） 	
	<p>○【再掲】黒瀬町内河川一斉清掃 黒瀬川の河岸や河川沿いの道路のゴミ拾いや草刈りを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期：2月頃 ・参加対象：黒瀬町民 	
	<p>○【再掲】松板川を探る会 おやじの会の方々が先生となり、小学生にヨシノボリやオイカワなど松板川に棲む生き物の紹介をしました。また、みんなで川に入り、生き物を観察したり、採集したりしました。子供たちは、採集した魚を大事そうに水槽に入れ、熱心に観察していました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期：7月末の土曜日 ・参加対象：板城小学校の小学生・先生・保護者・おやじの会 	
事業者	<p>○事務所周辺清掃作業 本店近くの公園清掃作業（ゴミ拾い等清掃活動）を行いました。また、近隣道路清掃作業（ゴミ拾い等清掃活動）を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：事業所近隣道路 ・参加者数：延べ12人（従業員） 	
	<p>○事務所周辺清掃作業 草刈作業を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：8人（職員） 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
	<p>・きれいなまちづくりキャンペーンについて</p> <p>きれいなまちづくりキャンペーンに参加しましたが、不法投棄を見つけ残念な気持ちになりました。このような活動を通して、ゴミを減らそうという人が一人でも増えるよう、もっと沢山の方に参加してほしいと思います。</p>	エコINNくろせ
		公衆衛生推進協議会（黒瀬）
		板城地域センター おやじの会板城 小学校
		平原建設(株)
		賀茂地方 森林組合

巻末資料 環境保全に関する取り組み一覧

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
事業者	<p>○事業所周辺清掃作業 事業所周辺県道沿いと沼田川河岸の草刈りを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：3 回 ・参加者数：関係者 10 人 	
	<p>○事業所周辺清掃作業 沼田川河川堤の草刈りと沼田川橋のタバコ吸殻拾いを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：河内町中河内 ・参加者数：延べ 26 名余 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		福富物産 しゃくなげ館
		中国醤油醸造 協同組合

12 温室効果ガスの抑制に向けた総合的な取り組みの推進

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市 市民	<p>○地球温暖化対策地域協議会補助</p> <p>エコネットひがしひろしまと市は、パートナーシップ宣言に基づき、協力しながら市域における温室効果ガスの削減や環境保全に対する次の取り組みを行いました。</p> <p>※エコネットひがしひろしまの会員数(平成24年度末)：個人 41、団体 14、事業者 24 の計 79</p> <p>①ひがしひろしま環境フェア 2012</p> <p>②研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東広島市内の衛生施設見学会(参加者 17 名) ・亀岡と綾部をめぐるエコツアー(参加者 6 名) <p>③コンテスト等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテン・コンテスト(応募者 34 件) ・ストップ地球温暖化ポスターコンクール(応募者：小学校部門 60 件、中学校部門 27 件) <p>④生涯学習フェスティバル</p> <p>木の実クラフト、蛸かご作り、竹炭工作、省エネ診断を行うとともに、緑のカーテン設置効果などワーキンググループの活動展示や団体の PR を行いました。</p> <p>⑤エコネット交流会</p> <p>5 月、12 月の 2 回開催し、共に 30 名弱の参加がありました。ワークショップ等を通じて、東広島の環境を改善するためのアイデア等を意見交換しました。</p> <p>⑥その他ワーキンググループ活動</p> <p>緑のカーテン講習会やライトダウンキャンペーン、エネルギーシンポジウム(ワインと酒とエネルギーのつどい)などを開催しました。活動内容はエコネットひがしひろしまのホームページを通して報告しました。</p>	<p>事業参加者の反応は好評でした。しかし、事業の開催が知られておらず、広報が課題です。HP や新聞記事、ちらしは興味のある人にしか目に留まらないことが一因と考えられることから、2 ヶ月間 FM 東広島のスポンサーとなり、10 分番組 8 本、CM90 本を放送し、エコネットひがしひろしまについて PR します。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		<p>環境対策課 エコネットひが しひろしま</p>

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○二酸化炭素排出量算定業務</p> <p>市域内の CO₂排出量を算定することを目的として、無作為抽出した市民に対し、四半期ごとにアンケートの郵送しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回～第 4 回アンケートは、 発送 3,996 件、回答 1,393 件(回答率 34.9%) でした。 ・CO₂排出量については、平成 22 年度比で 5.0%減でした。 	<p>東広島市地球温暖化対策地域推進計画の目標年度である 2015 年度(短期目標)、2020 年度(中期目標)、2050 年度(長期目標)に CO₂排出量算定のためのアンケートを実施します。</p>
	<p>○ひろしまの森づくり事業</p> <p>次のとおり森林保全活動への支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山林整備事業：20 団体 ・里山保全活用支援事業：4 団体 ・森林・林業体験活動支援事業：2 団体 	<p>今後も事業の有効活用による支援を行います。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		環境対策課
<ul style="list-style-type: none"> ・東広島市では30年で約1度の気温上昇が起きています。山林による二酸化炭素吸収が大事であり、「西条・山と水の環境機構」が行っているような活動を全体的に進めていく必要があると思います。住民自治協議会でも環境部会があるところもあるので、活動に協力していただくのは如何でしょうか。 ・横浜市など自治体によっては、森林保全に使うことを目的とした税金を住民税に上乗せしています。森林保全も悪臭規制についても市民の納得と協力が必要です。 ・市の森林面積が減っているということはないでしょうか。この辺を含めて、温室効果ガスの吸収のことなど、調べておいてほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森づくり県民税についてもっと地元に還元すべきではないでしょうか。 	農林水産課

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○農林水産物販路拡大推進事業</p> <p>(1) 引き続き、東広島ブランド推奨マーク使用者及び地産地消応援店認定店の登録を行い、農林水産物の消費拡大、地産地消の推進を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H24 の認定数：11 件（累計 71 件） <p>(2) 3 月 2 日に地産地消フェスティバルを開催しました。春の西条醸華町まつりとの同時開催により、集客が増加しました。</p> <p>(3) 地域イベントや量販店等で東広島産農林水産物のPRを行いました。</p>	<p>引き続き、ブランドマークやイベント等による地元産農林水産物のPRを行い、販路拡大及び地産地消を推進します。</p>
	<p>○園芸振興事業</p> <p>農林水産の振興及び経営の安定を図るため、農林水産業に意欲を持ち、積極的に取り組んでいる農業経営者、又、これらの産業の関係団体等に対し、補助金の交付決定を行いました（64件）。</p>	<p>継続します。</p>
	<p>○学校給食での地場農産物の活用</p> <p>①各学校給食センターにおける地元食材使用状況調査を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度実績値(重量ベース):主要野菜10品目 13.7%、主要野菜10品目+米 46.9% <p>②産業部との協議による情報共有をしました。</p> <p>③関係機関（JA、市場等）との連携により地元食材の種類と量が増加しました。</p>	<p>食材の量を確保します。</p> <p>食材の納入体制を構築します。</p> <p>地元食材使用状況調査を実施します。</p>
市民	<p>○【再掲】山のグラウンドワーク（第 55 回～第 59 回）</p> <p>森林整備（除伐作業：約 9,500㎡以上、材のチップ化：体積量約 35㎡とチップによる堆肥づくり、外来植物「セイダカアワダチソウ」他の除去）、炭焼き、木質ペレットづくり、薪割り、整備エリアの植生調査等を行いました。</p> <p>また、バイオマス講習やペレタイザー実演などの運営委員による講義も行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：東広島市憩いの森公園 ・参加者数：述べ 1,202 人（一般市民・大学生・高校生・企業関係者・スタッフ等） 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		農林水産課
		園芸センター
		学事課
<p>東広島市では30年で約1度の気温上昇が起きています。山林による二酸化炭素吸収が大事であり、「西条・山と水の環境機構」が行っているような活動を全体的に進めていく必要があると思います。住民自治協議会でも環境部会があるところもあるので、活動に協力していただくのは如何でしょうか。</p>		西条・山と水の環境機構

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	<p>○第 11 回ひろしま「山の日」県民の集いinひがしひろしま 森林整備（除伐面積：約 3,000 m²、材の棚積み）、バイオマス講習・ペレタイザー実演を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：憩いの森公園 ・参加者数：407 人 	
	<p>○第 11 回ひろしま「山の日」県民の集い東広島会場 西条・山と水の環境機構の運営委員として事務局事務にあたりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：憩いの森公園 ・参加者数：約 200 名 	
	<p>○【再掲】第 7 回エコクッキング in 下黒瀬小学校 地産小麦を使ったクッキー作りや黒瀬のジャガイモを使用した保温じゃがいもの作成を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：67 名（生徒・先生等） 	
	<p>○【再掲】うどんづくり 地球温暖化・地産地消等の環境学習を行い、地産小麦粉を使ったうどん作り体験後に乃美尾小学校の全校生徒が試食しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：乃美尾ふれあい館・乃美尾小学校 ・参加者数：120 名（乃美尾小学校 1、2 年生・先生等） 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
<p>東広島市では30年で約1度の気温上昇が起きています。山林による二酸化炭素吸収が大事であり、「西条・山と水の環境機構」が行っているような活動を全体的に進めていく必要があると思います。住民自治協議会でも環境部会があるところもあるので、活動に協力していただくのは如何でしょうか。</p>		西条・山と水の環境機構
		小倉 亜紗美氏
		エコINNくろせ

13 新エネルギーの導入

取組主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○住宅用太陽光発電システム設置費補助 平成 24 年度住宅用太陽光発電システム設置費補助件数は、591 件でした。</p>	<p>普及状況及び設置費用を注視しながら、事業継続を検討します。</p>
	<p>○新エネルギー施設の整備 東広島浄化センター内の水処理施設屋上のスペースを有効活用し、出力300kWの太陽光発電設備を平成24年度に設置し、同センターで必要とする電力エネルギーの一部を賄い始めました。</p>	<p>東広島浄化センターから放流される処理水を有効利用するため、出力50kWの小水力発電設備を平成25年7月に設置し、同センターで必要とする電力エネルギーの一部を賄い始めました。</p>
	<p>○太陽光発電 太陽光発電設備の利用により、二酸化炭素の排出削減を行いました。</p>	<p>継続して利用します。</p>
	<p>○新エネルギー施設の整備 本庁の屋上に、10KWの太陽光発電パネルの設置が完了し、電気使用量の削減を図りました。</p>	<p>支所・出張所には設備が無いところもあるため、建替え時をとらえて導入を目指します。</p>
	<p>○学校給食センターから出る使用済食用油の再資源化 学校給食センターから出る使用済食用油を、バイオディーゼル燃料として活用しました。 ・平成24年度回収数量：16,835 リットル ・回収業者名：株式会社アクセス（安芸津町風早）</p>	<p>学校給食センターから出る使用済食用油について、バイオディーゼル燃料として活用することの継続化を図ります。</p>
	<p>○企業訪問による聴取調査 平成 24 年度においてニーズに関する聴取を実施しました。太陽光発電施設の導入等を検討している企業もありましたが、設備投資に対して慎重な姿勢を示す企業が大半でした。</p>	<p>為替の円安に伴い、景気の先行きに明るさが見え始めています。 国施策、企業動向及び他自治体の対応等を勘案し、市としての支援策を検討します。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
	<ul style="list-style-type: none"> 補助金のPRについて 生ごみ処理器に補助金が出ていますが、太陽光発電にも補助金を出してはどうでしょうか。何に対して補助金が出ているのか知らない人は多いと思います。効果が出ないのはPR不足があると思います。もっと効果的なPRを考えてほしいです。 	環境対策課
	<ul style="list-style-type: none"> 浄化センターの太陽光発電システム 浄化槽に太陽光パネルが付いているのを初めて知りました。 	下水道部
		消防総務課
	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電施設について もっと予算を増やして、学校・その他公共施設に太陽光発電施設を設置してほしい。 	管財課
		学事課
		産業振興課

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
事業者	<p>○廃油のディーゼル油への変換</p> <p>大学祭の模擬店で使用された天ぷら油の廃油を集めてディーゼル油に変換し、一部をエコ活動に熱心な企業へ寄付しました。</p> <p>・参加者数：30名（近畿大学生）</p>	
	<p>○【再掲】籾殻燻炭の活用</p> <p>（1）二酸化炭素の削減（地球温暖化防止・炭素の土中固定化）</p> <p>市販及び手作りの燻燃器を用いて籾殻燻炭を作り、圃場に播き炭素の土中固定化を行いました。</p> <p>燻燃器3台で0.6ha分のもみ殻（約200 ㍻袋×40）を作り散布、起耕しました。</p> <p>（2）稲作（無農薬栽培の推進）</p> <p>籾殻燻炭作りの副産物として出来る籾酢液を動噴で100 ㍻/10a（200 倍液）を田圃に散布し、ウンカ、イモチ病、紋枯病の防除を行いました。特にイモチ病、紋枯病には良く効きます。</p> <p>燻炭は土中に撒くと、土中の菌が燻炭の微小な穴に棲みつき、土壌改良にもつながります。また、出穂前に木酢液を散布したところ、近隣でウンカが出て出なかったことがありました。</p>	
	<p>○ドラム缶式籾殻燻炭機の貸出し</p> <p>燻炭機を会員農家の人達に貸し出しました。稲作収穫後の籾殻を使って、燻炭作りを行うことによって、CO₂ を蓄積することができます。平成23～24年度の燻炭の作成により、CO₂ の吸収量は101トンになりました。</p> <p>・燻炭の作成量等：平成23年度は15名で3トン、平成24年度は23名で5トン</p>	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		近畿大学工学部
		三谷 信夫氏
		エコINNくろせ

14 省エネルギーの推進

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○防犯灯の整備</p> <p>(1) 防犯灯をLED化 防犯灯を蛍光灯から LED 照明へ取り替えました(3,975基)。</p> <p>(2) LED防犯灯設置工事 通学路整備事業で12基、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で12基の設置工事を行いました。</p> <p>(3) 防犯灯設置費補助金を交付 地域要望に基づくLED防犯灯設置費補助を72基分行いました。</p>	<p>継続して、不具合の生じた防犯灯(蛍光灯)から順次、LED照明への取替えを行います。</p>
	<p>○省エネ法に関するエネルギー管理規程策定業務(管理標準の作成)</p> <p>公共施設を10のカテゴリーに分類し、それぞれエネルギー使用量の多い施設を選定し管理標準を作成中です。</p> <p>その他の施設については、管理標準に準じた省エネ管理マニュアルを作成中です。⇒平成25年度策定予定です。</p>	<p>管理標準及び省エネ管理マニュアルの周知を図り、全庁的な取組とします。</p>
	<p>○小中学校施設の耐震化等</p> <p>工事(設計)に際し、便所等へのLED照明の導入を完了しました。</p> <p>①大規模改造事業(耐震補強工事設計) 9校設計の内、4校対応(導入)済</p> <p>②増改築事業(改築工事設計) 検討中</p>	<p>今後も改修工事等で積極的に対応していきます。</p>
	<p>○省エネルギー</p> <p>屋上緑化、LED照明等の使用により、省エネルギー化に努めました。</p>	<p>継続して利用します。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		危機管理課
<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場緑化によって、どれだけ温暖化対策に寄与しているか、分かればデータを提示してほしいです。 ・ 古い設備が新しくなったのだから個々の電気機器の性能が上がり、特に努力をしなくても電気料金が減るのは当然なことではないでしょうか。 		環境対策課
		教育総務課
		消防総務課

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
	<p>○市役所新庁舎の建設 庁舎（本館）の完成により以下の項目が完了しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①断熱性能の高い複層ガラスを導入しました。 ②昼光に連動し照明を制御する自動調光システムを採用しました。 ③トイレ及び高所へLED照明を採用しました。 ④屋上緑化、壁面緑化を採用しました。 	<p>②については支所・出張所の建て替え時をとらえて引き続き照明器具の切り替えを行っていきます。</p>
市	<p>○省エネチャレンジの実施 市民・事業者から省エネアイデアや省エネ達成状況を募集する「省エネチャレンジ」を開催しました。平成24年度の実績は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募者数 96 名（内、省エネナビ貸出者数 56 名） ・夏季（7～9月）と冬季（12～1月）の削減達成率上位者を、各 3 名表彰 ・夏季（7～9月）と冬季（12～1月）の省エネに関する取組の優秀者を、各 2 名表彰 ・前年比削減率 10%以上の達成者 14 名 	<p>家庭における温室効果ガス排出割合は多いため、今後も省エネ推進に向けて積極的に実施します。</p>
	<p>○住宅性能表示制度の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> （1）窓口へのパンフレット設置しました。 （住宅性能表示制度ガイド、日本の木のいえ情報ナビなど） （2）ひろしま住まいづくり支援ネットワークへ参加しました。 （ひろしま住まいづくりコンクール作品の巡回展示など） 	<p>情報提供の推進のため、市ホームページの内容を充実させます。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
<p>市役所新庁舎建築時に導入した省エネシステムについてですが、導入されたシステムはだいぶ前からあるものではないでしょうか。当初は地熱エネルギーの話もあったように思います。もっと、先進的なシステムを導入して、省エネのモデルになるような建物にしてほしいです。</p> <p>太陽光パネルが設置されていますが、あまり規模は大きくないものだと聞いています。</p>		管財課
		環境対策課
		住宅課

取組主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○ライトダウンキャンペーンの実施 広島大学宇宙科学センター、エコネットひがしひろしまが主催となり、東広島市、東広島市教育委員会などが共催し、光害の抑制や節電に関する啓発を目的として、8月24日に実施しました。20時から30分間のライトダウンとともに星空を眺めるよう呼びかけ、またライトダウン時に西条小学校において地域住民を対象とした「星を見る会」を開催し約400人の参加がありました。</p> <p>・協力要請先 広報東広島8月号、東広島商工会議所報8月号等に記事を掲載 訪問による要請：58（事業者） 郵送による要請：55（公共施設、金融機関、大型店舗等） （※訪問と郵送の両方を行ったもの：18） ポスター掲示依頼：12（共同住宅）</p>	<p>「ライトダウン」に協力する事業者・個人を増やし、光害の抑制や節電の啓発を引き続き行っていきます。</p>
市民	<p>○家庭内カーボン・ニュートラル化 どなたでも利用できる機器や技術を使うだけで、自動車2台を含む家庭内カーボン・ニュートラルを達成できました。築25年の家屋内は年中快適・健康的・経済的で、総投資額は短期間で回収可能です。</p>	<p>現在使用中の設備の使用期間は太陽光発電：15年、太陽熱温水器：20年、薪ストーブ：20年、家屋の断熱化：3年、ハイブリッドカー：2年です。現在までのところ故障はなく経年劣化も小さいですが、引き続き耐久性の検討と更なるカーボン・マイナス化を目指します。</p>
	<p>○第7回自転車キャラバン隊行動デー 2コースに分かれて、幟やタスキをかけて、自転車で走り、地球温暖化防止等、エコを呼びかけました。また、イズミ黒瀬店でチラシを配布しました。</p> <p>・参加者数：21名</p>	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		環境対策課
		安藤 忠男氏
		エコINNくろせ

巻末資料 環境保全に関する取り組み一覧

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	<p>○「2012 温暖化ストップ！フェア in ひろしま」 「地球温暖化講演会～今こそみんなで考えよう！地球温暖化～」へ参加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：産業会館西館 	
	<p>○省エネ診断養成研修 研修に参加し、広島版省エネ診断ソフトの診断演習を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：広島県公衆衛生会館 ・参加者：推進員 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		ひがしひろしま 環境家族
		エコINNくろせ

15 低炭素社会形成に奇与する事業の促進・支援

取組主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市事業者	<p>○産学金官の連携促進</p> <p>産学金官連携等によって生まれた優れた製品の販路拡大等を支援するため、審査会を開催し、「東広島発！ものづくり逸品」として、新たに2つの製品を認定しました。</p> <p>(※ただし、いずれも環境対応等を直接の目的とした製品ではありません。)</p>	<p>引き続き、産学金官連携の強化を図りながら、市内における新製品等の研究開発を促進することにより、申請件数の増大を目指していくとともに、認定製品の効果的な PR の推進に努めていきます。</p>
事業者	<p>○【再掲】東広島リサイクルショップ</p> <p>資源愛護、ゴミの減量をはかる目的で、市民からの不用品の提供を受け、リサイクル品として格安で販売しました。</p>	
	<p>○【再掲】籾殻燻炭の活用</p> <p>(1) 二酸化炭素の削減（地球温暖化防止・炭素の土中固定化）</p> <p>市販及び手作りの燻燃器を用いて籾殻燻炭を作り、圃場に播き炭素の土中固定化を行いました。</p> <p>燻燃器3台で0.6ha分のもみ殻（約200 ㎏袋×40）を作り散布、起耕しました。</p> <p>(2) 稲作（無農薬栽培の推進）</p> <p>籾殻燻炭作りの副産物として出来る籾酢液を動噴で100 ㎏/10a（200 倍液）を田圃に散布し、ウンカ、イモチ病、紋枯病の防除を行いました。特にイモチ病、紋枯病には良く効きます。</p> <p>燻炭は土中に撒くと、土中の菌が燻炭の微小な穴に棲みつき、土壌改良にもつながります。また、出穂前に木酢液を散布したところ、近隣でウンカが出て出なかったことがありました。</p>	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		東広島市産学金 官連携推進協議 会(東広島市、東 広島商工会議所、 黒瀬商工会、広島 県央商工会、安芸 津町商工会、広島 大学、近畿 大学工学部、広島 国際大学、東広島 市金融協議会)
		NPO 法人志和堀 DNA.NET
<p>・ごみの有料化については、以前から審議会でも議論していますが、市民1人1日当りのごみ排出量は増えています。ごみの量が減らないと、有料化になってしまいます。議論したときは市民の多くが気を付けなければと思ったのですが、少し忘れられているのではないのでしょうか？ごみの減量化について、市民にもっと働きかける必要があります。</p>		三谷 信夫氏

16 地域を超えた連携と国際的な協力の推進

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	<p>○ひがしひろしま環境フェア 2012 開催 環境配慮行動への意識啓発をするため、市の補助を活用して次のような市民参加型イベントを開催しました。</p> <p>ひがしひろしま環境フェア2012の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：平成24年7月29日（日曜日） 10:00～16:00 ・開催場所：中央生涯学習センター、 西条中央公園グラウンド ・主 催： ひがしひろしま環境フェア実行委員会 ・共 催： 東広島市、エコネットひがしひろしま、 西条・山と水の環境機構 ・来場者総数：8,000名 ・催事の概要（出展・出演者総数 55） <ul style="list-style-type: none"> ①各種団体の活動紹介 ②ステージイベント ③フリーマーケット ④スタンプラリー ⑤地元農産物販売 ⑥その他 	<p>環境の保全は市民・事業者・行政が一体となって取り組む必要があるため、今後も継続して環境配慮行動への実践を啓発していきます。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		<p>ひがしひろしま 環境フェア実行 委員会</p>

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○【再掲】ごみ減量化及び資源化の推進</p> <p>(1) 分別冊子「ごみブック」を作成し全戸配布 製作費： @31.92 円×98,000 冊=3,128,160 円</p> <p>(2) 啓発用 DVD 等の資料を作成 安芸津以外版、安芸津版の2種類でそれぞれ 成人用（10枚）と子供用（10枚）を作成し ました。併せて DVD の内容とリンクしたパワ ーポイント資料も作成しました。 製作費：2,467,500円</p> <p>(3) 使用済小型家電回収県モデル事業を実施 呉市と共同で回収実験実証を行いました。実 証実験の結果から、家電量販店が持ち込みやす い場所の1つとして考えられますが、家電量販 店が認定事業者になり回収した場合は、そちら に市民が持ち込む量が多くなり、市町の回収量 が減るため、回収事業の便益も減少することが 判りました。</p> <p>(4) 古着古布のイベント回収及びモデル事業を 実施 環境フェア（110kg回収）、生涯学習フェ スティバル（2750kg回収）でのイベント回 収及び東西条地域センターでの拠点回収により 実証実験をしました。</p>	<p>今後は、今回作成した資料（分 別冊子、啓発用DVD）を活用 し、ごみの減量啓発講座を開催 します。また、市公共施設及び 地域センターの協力により古着 古布の拠点回収、また、使用済 小型家電回収事業については国 の認定事業者と協議をし、今後 の回収方法等について検討しま す。この他、広島中央環境衛生 組合管内での連絡調整により、 今後のごみの減量施策等につい て協議します。</p>
	<p>○国際化推進事業 日中関係の悪化の影響により、延期または中止 された事業が多数あったことから、協力の要請が 無く未実施でした。</p>	<p>あくまでも、友好都市として の立場からの支援であり、市が 海外ビジネスの創出を積極的に 支援するというものではありません。 今後の事業実施について、両 国政府間の問題に大きく影響さ れることから、H25は計画か ら外します。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
<p>ごみブックは近所でも評判が良いです。このような形で今後もいろいろな情報発信と啓蒙活動をお願いしたいです。</p>		<p>廃棄物対策課</p>
		<p>企画課</p>

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○国際化推進事業</p> <p>「中米・カリブ地域生活排水処理」研修を平成 24 年 9 月 24 日～11 月 1 日までの 39 日間に渡り実施しました。</p> <p>研修員は、コスタリカ、ドミニカ共和国、エルサルバドル、グアテマラ、ニカラグア、パナマの 6 か国から 7 名が参加しました。</p> <p>大学、企業、地域住民のほか、本市関係部局（下水道部、教育委員会）等の協力のもと、講義や施設見学を通して様々な処理技術を学んだほか、住民活動や環境教育についての科目もあり、研修員から高い評価を得ました。</p> <p>研修員は、研修中に成果物として自国、または所属組織の抱える課題解決に有益であると思われる内容をまとめ、所属組織へ伝えるためのアクションプランを作成しており、帰国後、アクションプランを活用して自国において普及活動を行いました。</p>	<p>国際協力の必要性について、多角的な視点で整理をする必要があります。</p>
	<p>○多文化共生の推進</p> <p>専門的知識と経験を有する「多文化共生コーディネーター」を配置し、外国人市民の潜在能力を積極的に引き出すための体制づくりに取り組みました。</p> <p>①教室型、交流型、体験型（外国人児童生徒向け）、1 対 1 等の日本語教室をコーディネートしました。延べ 3, 000 人弱の受講者への語学学習機会の提供を行うことができました。</p> <p>②カリキュラム（必要に応じて）、テキスト等を独自に作成しました。</p> <p>③日本語教室講師、ボランティアの育成のための講習会を開催しました。（年間 4 回）</p> <p>④多文化共生講演会を開催しました。（年 2 回）</p> <p>⑤防災基礎知識を導入しました。</p>	<p>民間団体の取組を積極的に情報収集する必要があります。</p> <p>また、他団体等との連携体制も広げていく中で、後進、ボランティア等の人材育成を進めていく必要があります。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		企画課

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	<p>○クリーン太田川 広島市クリーン太田川実行委員会とタイアップし、地区内の川（東川・半川・関川）の清掃を東広島市維持課の支援を受けて行いました。 ・参加者数：地区民有志 300 人</p>	
	<p>○緑のカーテン講習会 緑のカーテンづくりの希望者を対象に、土づくりや苗の育て方、管理方法について JA 職員を講師に招き講習会を開催しました。 ・参加者数：50 名</p>	<p>□コミである程度の来場者がありましたが、まだ認知度が低いので、多くの市民に知ってもらい、この取り組みが広がれば良いと思います。また、講習をした効果について把握する仕組みがあればより良い事業となります。</p>
	<p>○環境理解セミナー(広島)「熱帯雨林を考える！」 (財)日本マレーシア協会が行っている助成事業「マレーシア・ボルネオ島における地域住民参加による熱帯雨林再生活動と ESD」の報告会にて発表を行いました。 ・開催場所：広島市文化交流会館 ・参加者数：約 20 名</p>	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		佐々木 勉吉氏
		ひがしひろしま 環境家族
		小倉 亜紗美氏

17 学校・家庭・地域などでの環境教育・環境学習の推進

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○公共施設への緑のカーテン推進</p> <p>希望があった市の施設に緑のカーテンを設置するための資材を提供し、それぞれの施設で管理していただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年度公共施設「緑のカーテン」実施箇所 合計 47 箇所 (内訳：庁舎 11 件、小学校 7 件、中学校 2 件、保育所 13 件、いきいきこどもクラブ 7 件、地域センター 3 件、その他 4 件) 	<p>省エネルギー・環境教育・環境学習の側面から事業継続を検討します。</p>
	<p>○環境教育の推進</p> <p>「ストップ地球温暖化」をテーマとしたポスターコンクールと、緑のカーテンコンテストを開催しました。平成 24 年度の開催概要は次のとおりです。</p> <p>(1) ポスターコンクール</p> <ul style="list-style-type: none"> 応募件数：小学校部門 60 件、中学校部門 27 件 表彰件数：それぞれの部門について、優秀賞 3 点、入選 7 点、エコネット賞 3 点を表彰 <p>(2) 緑のカーテンコンテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 応募件数：34 件 表彰件数：優秀賞 3 点、入選 7 点、エコネット賞 3 点を表彰 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
<p>・近年、かつての農村地帯で宅地開発が進み、住宅が増えると、堆肥など有機肥料の臭いに対する苦情が増えることが考えられます。農業と住宅を共存させるためには、農業についての環境学習を進めることが大事です。皆さんは減農薬の野菜を食べたい一方で、有機肥料の臭いを嫌います。環境学習にこのようなこともどんどん取り入れていく必要がありますが、環境学習時間が減っていることは残念です。</p>		<p>環境対策課</p>

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○環境教育・環境学習の推進</p> <p>(1) 学校から企業等へ出向いて受講した環境学習の授業時間は、平成24年度は10校14時間でした。</p> <p>(2) 「こどもエコクラブ事業」の登録の案内を行いました。</p> <p>(財) 日本環境協会が実施し、環境省がサポートしている「こどもエコクラブ事業」は、環境について学びたい幼児(3歳)から高校生までの子どもなら、誰でも設立できるクラブ(登録費・年会費無料)で、登録することによって、環境学習に役立つグッズや情報の提供、自然観察会や清掃活動など活動実施の際の賠償責任保険の適用などの支援を受けられます。</p> <p>(3) 環境教室等の案内を学校に通知しました。また、小学校校長会においても資料提供しました。</p>	<p>環境に関する講師等を招いて環境学習を実施する学校数を増やしていきたいと考えています。</p>
	<p>○体験型環境教育の実施</p> <p>小学校3校の第5学年が自然体験などの様々な体験活動を伴う3泊4日の集団宿泊活動事業を実施する事業を活用して、日頃生活している環境とは異なる場所で生活し、その地域のよさを感じとりました。</p> <p>また、宿泊先と自分が住んでいる地域を比較したことで、自分が住んでいる地域の環境を見つめ直し、そのよさに気づき、環境保全を行っていくとする行動につながりました。</p> <p>この他に、修学旅行等において、体験型環境教育(自然観察、施設見学等)を行った学校が見られました。</p>	<p>平成25年度は、小学校5校の第5学年が3泊4日の自然体験などの様々な体験活動を伴う集団宿泊活動事業を実施する予定です。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
<p>・近年、かつての農村地帯で宅地開発が進み、住宅が増えると、堆肥など有機肥料の臭いに対する苦情が増えることが考えられます。農業と住宅を共存させるためには、農業についての環境学習を進めることが大事です。皆さんは減農薬の野菜を食べたい一方で、有機肥料の臭いを嫌います。環境学習にこのようなこともどんどん取り入れていく必要がありますが、環境学習時間が減っていることは残念です。</p>		<p>指導課</p>

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○環境学習モデル学校 スクールエコ活動「見える化」支援事業において、電力監視装置を活用し、子どもたちが毎月の使用電力量を記録し、環境学習に役立てていました。</p> <p>8月から3月の2校の取組により、約27万円の電力料金の削減を行うことができました。</p>	<p>さらなる省エネ行動を実践し、省エネ実践の習慣化を目指していきます。</p>
	<p>○プログラムの提供 スクールエコ「見える化」の取組をしている、2校により、児童が作ったエコ標語や川柳を地域へ発信することや、保護者への啓発文書を配布し、エコ活動の取組を家庭へつなげることができるよう、呼びかけました。</p> <p>また、教育振興会等の便りに児童のエコ活動の取組を掲載し、地域へ広めていました。</p>	<p>小学校や中学校と連携して、保護者と児童・生徒が家庭において実践できる具体的なプログラムの提供などを行います。</p>
市民	<p>○第7回「エコINNくろせ」通常総会及び講演会 下記のとおり講演会を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演題：「地域に根差した木造建築を活かそう」 ・講師：広島国際大学准教授 ・開催場所：黒瀬生涯学習センター イベントホール ・参加者数：75名（会員・一般） 	
	<p>○省エネ診断養成研修 研修に参加し、広島版省エネ診断ソフトの診断演習を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：広島県公衆衛生会館 ・参加者：推進員 	
	<p>○第6回やすみつ（保光）川ハウマッチ 広島大生から「みずのはなし」（生き物と水の大切さ）をしてもらった後、魚とりやゴミ拾い等を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：乃美尾ふれあい館・保光川 ・参加者数：57名（児童・保護者・来賓等） 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		指導課
		エコINNくろせ

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	<p>○ひがしひろしま環境フェア共催 第 11 回水の グラウンドワーク</p> <p>西条の水についての講習や源流探訪を行いました。また、ひがしひろしま環境フェアの見学（利き水、ペレタイザー見学）を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：憩いの森公園 ・参加者数：17 人（小学生と保護者、高校生） 	<p>環境フェアとの同日開催は、準備やスタッフの配置・運営においてスタッフ数からみても天候等の外的要因からみてもギリギリの対応でオーバーロード状態でした。</p>
	<p>○西条山と水の環境機構第 11 回水のグラウンド ワーク</p> <p>西条・山と水の環境機構の水部門担当として講座をコーディネートし、講師も行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：憩いの森公園 ・参加者数：20 名（一般、高校生） 	
	<p>○企業訪問</p> <p>ライトダウンキャンペーンへの協力依頼で企業訪問を行いました。</p>	
	<p>○【再掲】緑のカーテン講習会</p> <p>緑のカーテンの設置希望者を対象に緑のカーテンの設置方法や管理方法について JA 職員を講師に招き講習会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：50 名 	<p>口コミである程度の来場者がありました。良い取り組みなのでより多くの市民に知っていただきたく思います。また、講習をした効果について把握する仕組みがあればより良い事業となります。</p>
	<p>○グリーンカーテンを普及促進するための栽培講習会を実施し、苗の無料配布をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：憩いの森公園 ・参加者数：40 組 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		西条・山と水の 環境機構
		小倉 亜紗美氏
		ひがしひろしま 環境家族

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	<p>○衛生施設見学会 東広島市内のごみや排水の処理などを学ぶため、4つの施設（東広島浄化センター、東広島学校給食センター、賀茂環境センター、賀茂環境衛生センター）をめぐる見学会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者：会員・一般 	<p>企画が新聞記事になったおかげで、非会員からも参加者があり好評でした。公開されていても見学する機会が少ない施設について、開催日時やルート等を検討して、より多くの人に参加してもらえる企画にしていきたいです。</p>
	<p>○亀岡と綾部をめぐるエコツアー 地域と行政、大学などが協働して環境問題に取り組む先進事例を学びました。6名の参加がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：京都府亀岡市、綾部市 ・対象者：会員 	<p>見学先は原則土日が休みであるため開催が平日となり、多くの一般の方は参加しづらかったです。土日に開催する交流会などの機会に報告することで多くの市民に情報を発信したいです。</p>
	<p>○【再掲】八本松小学校環境学習 七ツ池周辺の生物調査及び環境学習・ゴミ拾いを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：100人程度（小学4年生） 	
	<p>○寺西女性会・寺西地区まちづくり協議会・寺西地区住民自治協議会 環境学習会 講演 寺西女性会・寺西地区まちづくり協議会・寺西地区住民自治協議会 環境学習会にて「持続可能な社会を目指して～孫の代まで幸せに暮らせる社会とは～」という講演を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：寺西地域センター ・参加者数：約 50 名 	
	<p>○三ツ城小学校 5 年生総合学習 三ツ城小学校 5 年生総合学習にて、「西条のおいしい水～その特徴や問題点について～」の話と実験、利き水体験等を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：三ツ城小学校 ・参加者数：約 160 名（三ツ城小学校 5 年生） 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		エコネット ひがしひろしま
		かっぱのおうち
		小倉 亜紗美氏

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	<p>○八本松小学校 4 年生総合学習 八本松小学校 4 年生の総合学習にて、七ツ池にて水講座を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：七ツ池 ・参加者：八本松小学校 4 年生 	
	<p>○松板川の自然を探る会 松板小学校の子供・保護者を対象に環境の話をしたのち、松板川にて生き物と触れ合いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：松板小学校・松板川 ・参加者数：約 30 名（松板小学校の子供・保護者） 	
	<p>○【再掲】松板川を探る会 おやじの会の方々が先生となり、小学生にヨシノボリやオイカワなど松板川に棲む生き物の紹介をしました。また、みんなで川に入り、生き物を観察したり、採集したりしました。子供たちは、採集した魚を大事そうに水槽に入れ、熱心に観察していました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期：7 月末の土曜日 ・参加対象：板城小学校の小学生・先生・保護者・おやじの会 	
事業者	<p>○ひがしひろしま環境フェア共催 第 11 回水のグラウンドワーク 西条の水についての講習や源流探訪を行いました。また、ひがしひろしま環境フェアの見学（利き水、ペレタイザー見学）を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：憩いの森公園 ・参加者数：17 人（小学生と保護者、高校生） 	<p>環境フェアとの同日開催は、準備やスタッフの配置・運営においてスタッフ数からみても天候等の外的要因からみてもギリギリの対応でオーバーロード状態でした。</p>
	<p>○田植え・稲刈り体験学習 JA 主催の活動へ協賛し、ココノエモチの田植え、稲刈りを行い、収穫後に餅つきを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者：乃美尾小学校生徒・先生等 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		小倉 亜紗美氏
		板城地域センター おやじの会 板城小学校
		西条・山と水の 環境機構
		エコINNくろせ

18 利用しやすい環境情報の整備と発信

取組主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	<p>○ウェブサイトを利用した環境活動情報の発信 リニューアルしたウェブサイトの利便性を向上させるため、機能の改善や追加を行いました。併せて広報 WG のメンバーは、更新作業について一連の講習を受けました。</p> <p>・対象者：広報 WG（4 名）</p>	<p>ネットワーク組織であるエコネットひがしひろしまの会員が交流する要としてウェブサイトを持ち上げています。平成 23 年度中に WG 用ページの新設や、各種申請用紙のダウンロード等利便性を高めており、今後 Google マップ機能を活用した市内エネルギーマップなどの情報提供を行いたいと考えています。</p>
	<p>○【再掲】環境理解セミナー（広島）「熱帯雨林を考える！」</p> <p>（財）日本マレーシア協会が行っている助成事業「マレーシア・ボルネオ島における地域住民参加による熱帯雨林再生活動と ESD」の報告会にて発表を行いました。</p> <p>・開催場所：広島市文化交流会館</p> <p>・参加者数：約 20 名</p>	
	<p>○中国新聞 オピニオン 寄稿</p> <p>「地球環境のためにできること」という題名で寄稿しました</p>	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		エコネット ひがしひろしま
		小倉 亜紗美氏

19 環境保全活動への参加促進と取り組みの支援

取組主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市	<p>○環境シンポジウム</p> <p>持続可能な都市を構築するためには、環境・エネルギー問題に対する新たな視点が必要であると、今後のまちづくりのあり方（将来ビジョン）について環境の視点から議論を行いました。その議論により、行政と市民それぞれが持続可能な都市の実現の必要性について意識の醸成を図ることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入場者数：149 人 	
市民	<p>○【再掲】「2012 温暖化ストップ！フェア in ひろしま」</p> <p>「地球温暖化講演会～今こそみんなで考えよう！地球温暖化～」へ参加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：産業会館西館 	
	<p>○緑のカーテンコンテスト、ストップ地球温暖化ポスターコンクールの共催／審査</p> <p>H22 年度から東広島市が主催して開催されているコンテストに共催参加しました。審査は”緑のわか WG “をはじめとする会員が担当し、優秀な作品に対してエコネット賞を授与しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：中央生涯学習センター ・参加者数：広報 WG（2 名）、緑のわか WG（2 名） 	<p>環境意識が高い受賞者について、エコネットひがしひろしまへの加入を呼び掛けたり、無理のない程度にイベントに参加してもらうなど、活動の輪を広げる取り組みを検討する必要があります。</p>
	<p>○生涯学習フェスティバル</p> <p>環境対策課とともにブース出展（2 小間を共有）しました。竹炭や天然素材を利用した環境工作コーナーを設けるとともに、エコネットの PR や WG の活動紹介を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：東広島運動公園 ・対象者：会員・一般 	<p>集客のためにクラフト工作や省エネ診断を行っていますが、本来の目的である会員の活動紹介等が十分行えていません。また、敬遠されるので勧誘も行いづらいです。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
<p>・東広島市では30年で約1度の気温上昇が起きています。山林による二酸化炭素吸収が大事であり、「西条・山と水の環境機構」が行っているような活動を全体的に進めていく必要があると思います。住民自治協議会でも環境部会があるところもあるので、活動に協力していただくのは如何でしょうか。</p>		<p>企画課</p>
		<p>ひがしひろしま 環境家族</p>
		<p>エコネット ひがしひろしま</p>

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	<p>○省エネチャレンジコンテスト夏の巻。冬の巻(共催)</p> <p>今年度から省エネチャレンジコンテストを共催し、省エネアイデア部門の審査を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者：一般 	<p>エコネットひがしひろしまが家庭の電気使用量を計測し、節電に役立てるための「省エネナビ」を市民の方に貸し出しました。</p> <p>今後は節電効果が容易に比較できるように「省エネナビ」利用者のモニター制度等を設けることを検討します。</p>
	<p>○ワインと酒とエネルギーのつどい(共催)</p> <p>安藤忠男氏、フク・カロリン氏、滝川薫氏を講師に招き、東広島市や欧州のエネルギー事情について講演が行われ、今後のエネルギーについて意見交換等が行われました(来場者 70 名)。その後開催された懇親会では、講師を含めた参加者同士で意見交換が行われました(参加者 40 名)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：中央生涯学習センター ・対象者：一般 	<p>共同開催であるため、主催者側と事務局が役割分担して参加呼びかけや会場準備、運営を行いました。主催者側がイベントに不慣れなことや、主催者と事務局の意思疎通が十分でなかったことから、直前になって慌ただしくなりました。事務局が主導を取ることはできませんが、不明な点は確認を取るようしていきたいです。</p>
	<p>○ワインと酒とエネルギーのつどい運営協力</p> <p>ワインと酒とエネルギーのつどいの運営協力を行いました。</p>	
	<p>○「東広島市生涯学習フェスティバル」出展参加</p> <p>「エコネットひがしひろしま」で参加しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 蛍籠作りコーナー ② 竹炭アート作りコーナー ③ 省エネ診断コーナー <ul style="list-style-type: none"> ・対象者：一般 	
	<p>○第2回東広島環境フェア</p> <p>竹炭アート作りのコーナーを出展しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：29 名(一般・エコ INN くらせ) 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
<p>・「エコネットひがしひろしま」以外の市民の環境活動に関する情報も集め、市民に知らせることも必要です。</p>		
<p>・「ワインと酒とエネルギーのつどい」に参加させてもらいエコネットひがしひろしまという組織が理解できて良かったです。</p>		<p>エコネット ひがしひろしま</p>
		<p>ひがしひろしま 環境家族</p>
		<p>エコINNくろせ</p>

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	<p>○第 19 回黒瀬町健康福祉まつり出展 ブースを出展しました。</p> <p>①竹炭アート作りコーナー ②酵素肥料、竹炭消臭袋、くん炭等、販売 コーナー</p> <p>・対象者：一般</p>	
	<p>○亀岡と綾部をめぐるエコツアー エコツアーに参加しました。</p>	
	<p>○衛生施設見学会参加 衛生施設見学会に参加しました。</p> <p>・開催場所：東広島市内</p>	
	<p>○【再掲】クリーン太田川 広島市クリーン太田川実行委員会とタイアップし、地区内の川（東川・半川・関川）の清掃を東広島市維持課の支援を受けて行いました。</p> <p>・参加者数：地区民有志 300 人</p>	
	<p>○カワニナの飼育放流 スーパーよりキャベツの葉の落とし葉をもらって、庭の池でカワニナの飼育をしました。</p> <p>・放流場所：杉坂川</p>	
	<p>○ひがしひろしま環境フェア2012 エコネットひがしひろしまの組織や会員の活動についてパネル展示しました。併せて廃材等を利用したクラフト工作コーナーを設け、夏休みの宿題として多くの子供の参加がありました。</p>	
	<p>○ひがしひろしま環境フェア2012 昨年に続き 2 回目となる “ひがしひろしま環境フェア 2012」に共催参加し、実行委員会の中核として企画・運営に携わりました。併せて、エコネットひがしひろしまのブースを出展しました。</p> <p>・開催場所：中央生涯学習センター西条中央公園 グラウンド</p> <p>・参加者数：約 8,000 人</p>	<p>夏の開催は初めてとなりましたが、40℃近くにまで上昇した暑さの他、雨天など天候の対策が課題となりました。このほか、広報誌やポスターだけでは不十分だった広報活動についても検討が必要でした。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		エコINNくろせ
		ひがしひろしま 環境家族
		佐々木 勉吉氏
		エコネット ひがしひろしま

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	<p>○乃美尾小学校匠の技（工作教室）実習学習会 本立の製作（鋸の使い方や釘の打ち方<コツ>等の学習）を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：乃美尾小学校 ・参加者数：41 名（児童・生徒等） 	
	<p>○乃美尾小学校 1・2 年生による蛭かご作り ・地域の人が指導し、麦わらを使って蛭籠を編みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：乃美尾小学校体育館 ・参加者数：42 名（生徒・先生等） 	
	<p>○竹炭作り ・竹藪の整備により切り出した竹を竹炭にし、子供たちと竹炭アートや消臭袋を作成しました。</p>	
	<p>○保光川ハウマッチでのミニ講演 ・黒瀬川の水及び水生生物の講演を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：50 人（小学生） 	
	<p>○昆虫キッズあつまれ！&黒瀬川クリーン作戦 ・黒瀬川土手での昆虫採集と昆虫に関する解説をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：黒瀬川・三ツ城小学校 ・対象者：小学生とその家族 	
	<p>○東広島市浄化槽設置者維持管理講習会 東広島市の新規浄化槽設置者向けに「私たちの身の回りの水について」というタイトルで講演を行いました。</p>	
	<p>○ひろしま環境大学 環境カウンセラーひろしま主催の講座で、受講者の撮った写真とコメントを展示し、コンテストをするエコ写真展を実施しました。また、国際交流と環境保全について紹介しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：サンスクエア東広島 ・参加者数：約 40 名（ひろしま環境大学受講者） 	

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
	<p>・黒瀬地区の小学校での取り組みについて</p> <p>各地域の特性を折り込んで、子供たちが郷土を知り、生活環境を知り、将来に向かっての湯むと思い出づくりに役立ちます。地域の取り組みに共感・敬服します。</p>	エコINNくろせ
		かっぱのおうち
		中坪 孝之氏
		小倉 亜紗美氏

取組 主体	平成 24 年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性
市民	<p>○シバザクラ育苗・植栽講習会</p> <p>職業・地域を問わず、来訪者は勿論のこと、地域へ出向いて育苗・植栽からすべてを伝授しました。</p> <p>田畑の法面にシバザクラを植えると、景観が良くなるだけでなく、法面に雑草が生えなるため、野焼きや草刈りの手間が省け、草刈り機の燃料の節約にもなります。また、除草剤を使用することもなくなる点においても、環境保全につながります。この他に、シバザクラにはイネ科の雑草に付くカメムシが寄り付きにくく、雨が降っても法面の土が流れないなどのメリットがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期：6月（育苗）・10月（植栽） ・対象者：農業集落の有志 	
事業者	<p>○伝統的七夕の夜に星を見よう ～ライトダウン in 東広島 2012～</p> <p>市全域の市民・事業者に対し、20時から30分間のライトダウンとともに星空を眺めるよう呼びかけました。また、ライトダウン時に西条小学校において地域住民を対象とした「星を見る会」を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期：8月24日 ・開催場所：西条小学校 	<p>初めての取り組みにもかかわらず多くの企業に協力をいただき、会場の西条小学校にも多くの来場者が訪れました。これからこの成果を継続するとともに、取り組みエリアをさらに拡大していきたいです。</p>

環境審議会での意見・提言等	パブリックコメントでの意見・提言等	実施主体 (部署・団体等)
		乃美エコクラブ
		エコネット ひがしひろしま

東 広 島 市 の 環 境
～ 取 り 組 み の 報 告 編 ～

平成 26 年 3 月

編 集 発 行	東 広 島 市 生 活 環 境 部 環 境 対 策 課
所 在 地	〒 7 3 9 - 8 6 0 1 東 広 島 市 西 条 栄 町 8 番 2 9 号
電 話	(0 8 2) 4 2 0 - 0 9 2 8

